

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○				○	○	○		○		○			

企業の概要

企業・団体名	株式会社コンピュータマインド	本社所在地	山梨県
業種	情報通信業	総従業員数	140名
事業概要	ソフトウェア開発		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	テレワーク勤務規程
テレワーク担当部署	経営管理Gr.
テレワーク対象者	開発本部／開発者
実施者数	140名
平均実施日数	月12回以上16回未満程度(概ね週3~4回)

テレワークの導入・拡大の経緯

- 緊急事態宣言が出る前から子供が産まれた社員等に導入しており、緊急事態宣言を機に全社員へ拡大した。
- 緊急事態宣言解除後も開発本部のメンバーはテレワークを継続、定着している。

テレワークの概要・特徴

- 実機試験などで出社が必要な場合もあるが、テレワーク率7割を目標に、開発本部のメンバーがローテーションで在宅勤務を行っている。
- 経営管理Gr.は基本的に常時出社だが、東京のメンバーは緊急時に在宅勤務で対応している。
- 社員間のコミュニケーションや社外との打ち合わせは主にTeamsで行っている。
- MagicConnectとSecureDesktopを用いたリモートデスクトップで作業を行っている。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- 交通費の節約ができた。
- 通勤時間のカットにより時間に余裕が生まれ、社員のストレスが低減した。
- 家庭の事情にも柔軟に対応しやすくなった。